

第2学年1組 生活科学習指導案

平成26年6月14日(土)

授業者 齋藤 博伸

授業会場 ピロティー

1 単元名 うごくおもちゃであそぼう

2 単元について

(1) 児童の実態について

本学級の児童は、第1学年2学期の単元「しぜんとともだち」において、輪ゴムをねじったり、のぼしたりすることで動くおもちゃ、空気や風の力で動くおもちゃ、高いところから低いところへ落ちるおもちゃ、どんぐりゴマのように回転して動くおもちゃ、投げたり、飛ばしたりするおもちゃを作って遊んだ。特に、船を浮かばせ、スクリューの動力源を輪ゴムにして動かすおもちゃを作り遊ぶ児童が多かった。その中で、スクリューに使っている輪ゴムの数やを巻く回数を変えることで、動きの違いを比べていた。このような発見から、おもちゃを自分が思うように動かしたい気持ちが高まり、おもちゃ作りにおける「動かせ方」を考えて作るようになった。また、おもちゃ作りを通して、友達と一緒に楽しく遊んだり、ルールを決めたりする場面が増えてきた。

(2) 単元設定の趣旨と構成上の配慮

本単元は、上記の児童の実態と小学校学習指導要領の内容(6)を受けて設定したものである。ここでは、身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにすることがねらいである。特に、第1学年2学期の単元「うごくおもちゃであそぼう」とつなげて、おもちゃの作り方や遊び方を考えられるようにしていきたい。また、遊ぶ場所のよさを生かすようにすることで、友達と協力して遊ぶ場所を作り、工夫して遊べるようにしていきたい。

授業を構成するに当たっては、自然の不思議さや面白さを実感する児童を育てるために、「比べる」「繰り返す」「試す」などの活動を主軸にした展開を心がける。そのためには、次の2点を大切にしたい。①児童が環境の特性や構造を生かして遊びを作り出し、安全に、そしてダイナミックに活動できるよう、ピロティーにある足洗い場やスロープを遊ぶ場所(おもちゃランド)として、児童が作り上げていくこと。②一人一人の思いや願いを生かした多様な遊びを行い、それを互いに響かせ合うような学習活動となるように、遊ぶ場所(おもちゃランド)を友達と協力して作り上げていくこと。このような学習活動を通して、遊ぶ場所(おもちゃランド)のよさを生かしたおもちゃ作りや、遊び方を工夫していけるように配慮していく。

(3) 児童の意識

1年生の時に動くおもちゃを作って遊んだよ。またみんなで作って遊びたいね。



ゴムで動くおもちゃで遊ぼう

風で動くおもちゃで遊ぼう

回転させて動くおもちゃで遊ぼう



自分で作ったおもちゃをピロティーで遊ぼう



大きな水槽で船を動かせたいな

長い坂道で車を走らせたいな



ピロティーをおもちゃランドして遊ぼう

(本時)



友達と協力しておもちゃランドを作れたね。おもちゃをパワーアップできたね。

3 教科の研究主題とのかかわり

ここでは、遊ぶ楽しさを味わっている様子やノート、作品などで活動を振り返られるように、掲示物を児童と共に作る。また、児童や教師がとらえた「比べる」「繰り返す」「試す」等の活動を可視化する。そして、次の点で教科の研究主題との関連を図り、実践を試みる。

<手立て1>学習対象の気づきを可視化したものを活用できるように、見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動を意図的に授業の中に設定する。ここでは、水平思考するように、児童一人一人の思いや願いの多様性を発想力によって生かせるようにする。

<手立て2>学習対象の気づきを可視化したものを活用できるように、学習対象と児童の関わりについての見取りも掲示物上に示していく。このとき、学習対象の気づきを基に、次の活動を決定する場面を設定することで、垂直思考（主に分析比較力、取捨選択力）できるようにしていく。

4 単元の目標

身近にあるものを使って動くおもちゃや遊ぶ場所をつくり、友達と競争したり、工夫を教え合ったりしながら、自分のおもちゃや遊ぶ場所を改良することを通して、動くおもちゃの面白さや不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

5 単元の指導計画・評価計画（12時間扱い）

(1) 単元の評価規準と小単元の評価規準

		生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
	単元の評価規準	身近な自然に目を向け、興味・関心をもって繰り返し観察したり、どんぐり拾いや落ち葉集めなどの活動に取り組もうとしたりしている。	自分なりの思いや願いをもって自然と関わり、遊びを工夫したり、自然の不思議さや知りたいことについて、友達と情報交換をしたりし、それをすなおに表現している。	季節によって自然の様子が変わることに関心、季節ごとの自然の美しさや豊かさを味わうことで、自然と親しみ、自分たちの生活をより楽しく工夫できることが分かる。
小単元の評価規準	1 ごくおもちゃで遊ぶ	①おもちゃが動く仕組みに関心を持ち、おもちゃを作ろうとしたり、遊び方を工夫したりしようとしている。	①動力源を考えて、比べたり、試したり、見立てたりして友達と一緒に遊んでいる。	①身近にある物を使うことで、その面白さに気づき、自分たちの生活が楽しくなることが分かる。
	2 おもちゃランドで遊ぶ	②足洗い場やスロープ等の遊び場に関心を持ち、それに合わせておもちゃを作ろうとしたり、遊び方を工夫したりしようとしている。	②遊び場の特徴や構造から動くおもちゃを改良したり、友達と一緒に遊んだり、振り返ったりしている。	②動くおもちゃの動きの面白さに関心、自分たちの生活が楽しくなることや自分自身の成長が分かる。
		~~~~~以下略~~~~~		

(2) 単元の指導計画・評価の視点

小単元名・ねらい	主な活動（時数）	評価規準から想定した具体的な子どもの姿 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価方法</span>	
<p>1 おもちゃであそぼう（3時間）</p> <p>◎動くおもちゃに関心を持ち、おもちゃが動くしかけに気付き、身近にある物を利用して、自分たちの生活を楽しめるようにする。</p>	<p>①動くおもちゃを作ったり、友達と一緒に遊んだりする。（2）</p> <p>②より楽しく遊べるように、工夫したことなどについて話し合う。（1）</p>	<p>関-①</p> <p>思-①</p> <p>気-①</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動くおもちゃ作りに関心を持ち、身近な物を準備し、自分で作ろうとしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発・ノ・自</span></li> <li>・みんなで楽しく遊ぶことに関心を持ち、道具や材料の準備や片付け、整理整頓などをしようとしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行・ノ・自</span></li> <li>・おもちゃが動く仕組みを考えて、身近な物を準備し、工夫しておもちゃを作っている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作・ノ</span></li> <li>・自分のおもちゃが思うように動くのか考えて、比べたり、試したり、見立てたりしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行</span></li> <li>・身近な物でおもちゃが作れることや、おもちゃが動く不思議さが分かる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発・ノ</span></li> <li>・おもちゃの動きが変わることとおもちゃの作り方は、きまりがあることが分かる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発・ノ</span></li> </ul>
<p>2 おもちゃランドであそぼう（8時間）</p> <p><b>本時7／8</b></p> <p>◎足洗い場やスロープ等の遊び場の特徴や構造に関心を持ち、動くおもちゃを作り直したり、遊んだりすることで、自分たちの生活を楽しめるようにする。</p>	<p>①ピロティー（おもちゃランド）で動くおもちゃで遊ぶ。（1）</p> <p>②ピロティー（おもちゃランド）に合わせて、動くおもちゃを作ったり、友達と一緒に遊んだりする。（5）</p> <p>③より楽しく遊べるように、工夫したことなどについて話し合う。（2）</p> <p>※②③の活動を繰り返す。</p>	<p>関-②</p> <p>思-②</p> <p>気-②</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動くおもちゃ作りに関心を持ち、身近な物を準備し、自分で作ろうとしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発・ノ・自</span></li> <li>・遊び場の特徴や構造を生かして、友達と協力して遊び場を作ろうとしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行・自</span></li> <li>・みんなで楽しく遊ぶことに関心を持ち、道具や材料の準備や片付け、整理整頓などをしようとしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行・ノ・自</span></li> <li>・自分の思いや願いにそって、材料を工夫したり、繰り返し遊んだりしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行・作・つ</span></li> <li>・楽しく遊ぶために、遊び方を工夫したり、ルールや約束を作ったりして遊んでいる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行・発</span></li> <li>・みんなで楽しく遊んだことや友達の活動のよさを振り返り、それをまとめたり、みんなに伝えたりしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行・発・ノ</span></li> <li>・遊び場の特徴や構造を生かしておもちゃを作ったり、遊び方を工夫したりすると、自分たちの生活がより楽しくなることが分かる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発・ノ</span></li> <li>・おもちゃの動きが変わることとおもちゃの作り方は、きまりがあることが分かる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発・ノ</span></li> <li>・自分とおもちゃとの関わり方の変容や他者評価から、自分でできるようになったことが分かる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発・ノ</span></li> </ul>

~~~~~以下略~~~~~

【行行動、発発言、作作品、つつぶやき、自自己評価カード、ノノートによる評価を示す。】

6 本時の学習指導（第2次 7／8時）

(1) 目標

遊び場（足洗い場やスロープ等）の特徴や構造に関心をもち、おもちゃの動きが変わることとおもちゃの作り方にきまりがあることに気付き、動くおもちゃを作り直したり、遊んだりする。

(2) 展開

| 児童の活動・意識 | 評価（●）と支援（○） | 準備 | 時間 |
|--|--|---|------------|
| <p>1 動くおもちゃで遊んだことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工夫すると、上手く動くことが分かりました。 おもちゃを作ったり、それで友達と遊ぶと楽しいです。 | <p>●足洗い場やスロープ等の遊び場に関心をもち、それに合わせておもちゃを作ろうとしたり、遊び方を工夫したりしようとしている。</p> <p style="text-align: right;">関-②発・ノ</p> <p>○学習活動2につながるように、児童の発言を板書していく。特に、遊び方や作り方の工夫の変容が分かるように焦点化していく。</p> <p style="text-align: right;"><手立て1></p> | <ul style="list-style-type: none"> 掲示物 | <p>5′</p> |
| <p>2 動くおもちゃを作り直したり、遊んだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 長く動くように船のスクリューを改良しようよ。 うちわで扇ぐと進むように、船に帆を立てよう。 スロープの途中に、ジャンプ台を作ろうよ。うまくジャンプできたら1点しよう。 スロープを登れるように、車に帆を立てて、うちわで扇いでみよう。 友達と協力して大きなボールを作って、船を競走させよう。 | <p>●遊び場の特徴や構造から動くおもちゃを改良したり、友達と一緒に遊んだり、振り返ったりしている。</p> <p style="text-align: right;">思-②作・発・つ</p> <p>○掲示物や実際に作ったおもちゃを比べることで、おもちゃや遊ぶ場所の改良点を見付けられるようにする。</p> <p style="text-align: right;"><手立て2></p> <p>○長く走らせたい、速く走らせたい等の工夫を実現していくために、材料や道具を準備できるようにしていく。</p> <p>○動力源を二つにしたり、遊ぶ場所を変化させたりする活動を称賛していくことで、その考えのよさに気付けるようにしていく。</p> <p>○おもちゃで遊ぶ時に、点数や記録を付けられるように、ルール作りも大切なことが分かるように対話していく。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ノート 道具 材料 | <p>30′</p> |
| <p>3 学習活動2で気付いたことを基に、動くおもちゃと自分との関わり方の変容について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> おもちゃが作れるようになって嬉しいです。 友達に教えることができました。 | <p>●動くおもちゃの動きの面白さ気付き、自分たちの生活が楽しくなることや自分自身の成長が分かる。</p> <p>○自分のおもちゃが上手く動いた理由を発表することで、動きのきまりに気付くようにする。</p> <p>○自分自身の成長について発表したことを取り上げていくことで、一人一人が自分自身の成長について気付くようにする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ノート | <p>10′</p> |

7 備考 在籍児童数 34名